

神話伝説の山里

# 「高千穂郷」通信

平成19年9月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.57



天岩戸神社秋季大祭

古事記神話にゆかりの深い高千穂町の天岩戸神社の秋季大祭は、神話のまち高千穂らしい古代のロマンを感じる祭りです。岩戸を引き開けたとされる手力男命(たちからおのみこと)にちなんで、力自慢を競う岩戸投げ大会が行われました。(9月23日)



三ヶ所神社例大祭

五ヶ瀬町の三ヶ所神社の例大祭では、400年以上続いてきた国の重要無形文化財「荒踊」が奉納されます。当時の武者装束をまとい、火縄銃をはじめ、槍、弓などの武器を手にして、古式ゆかしく勇壮活発な踊りが行われました。(9月29日)

## 高千穂土地改良区「21世紀土地改良区創造運動」 菜種油の贈呈

9月7日に高千穂土地改良区の田崎篤志理事長から西臼杵支庁長へ菜種油の贈呈がありました。この菜種油は、同改良区の「21世紀土地改良区創造運動」の一環として5月に高千穂小学校の6年生51名が参加して行われた、農業体験において収穫された菜種を絞って作られたものです。菜種油は、食用としてはオリーブ油などに含まれる成分を多く含み健康にも良いとされており、また、バイオエタノールに代表される次世代の自然エネルギーとしても期待されています。高千穂土地改良区は、地域の人達に農業・農村の役割や土地改良区の果たす役割を知ってもらうために、今後も活動を推進していく予定です。



収穫の様子



贈呈式の様子

### 21世紀土地改良区創造運動とは？

「時代とともに、地域とともに歩む土地改良区」を目指して、土地改良区が果たしてきた役割、機能を改めて見直すとともに国民が期待する新たな役割に対し、どのように土地改良区が取り組んで行くか、地域の人たちとみんなで考えることを提案する運動です。

高千穂土地改良区は、平成18年に小学生に対する菜種の収穫体験に取り組んできた活動が評価され21世紀土地改良区創造運動の全国大賞を受賞しています。



左は土地改良区の愛称である「水土里ネット」のシンボルマークです。高千穂土地改良区の愛称は「水土里ネット高千穂」となります。

## 「青少年の主張」宮崎県大会

8月22日に佐土原総合文化センターで「青少年の主張」宮崎県大会が開催され、県内から選ばれた16名（少年の部9名、青年の部7名）が各地区の代表として、それぞれの意見を堂々と発表しました。西臼杵地区からは、2名が出場し、少年の部では江藤広夏さん（高千穂町立上野中学校3年）が最優秀賞を、青年の部では、谷川亜里沙さん（株新旭サービス）が優良賞を受賞しました。少年の部最優秀賞の江藤さんは、11月に開催される「少年の主張全国大会」に九州地区代表（2名）の候補者として推薦されました。



（少年の部）最優秀賞  
「あの日の言葉」  
上野中学校3年 江藤広夏さん

弟への不用意な発言を深く反省し、自閉症の弟とともに成長してきた。今後は、弟の個性を認めてもらえる社会になって欲しいと発表。



（青年の部）優良賞  
「日之影町伝統芸能の宮水人形浄瑠璃に携わって」  
（株新旭サービス） 谷川亜里沙さん

宮水地区に残る人形浄瑠璃の復活に携わり深く感動したが、後継者がいない。今後は小中学生にも伝えられるよう工夫して、伝統を受け継いでいきたいと発表。

# 高千穂ひのかげくりをどうぞ！！

J A 高千穂地区くり部会から、9月10日には高島支庁長に、9月11日には東国原知事に‘高千穂ひのかげくり’の贈呈がありました。

‘高千穂ひのかげくり’は、長年の徹底した選果選別により岐阜県中津川など県外の老舗の菓子商から厚い信頼を得ており、市場での取引価格は日本一と言われています。

知事への贈呈の際には、生栗に加えて日之影町内の女性起業グループ「さくら会」の作った‘栗のつくね’や‘渋皮煮’も振る舞われ、こうした地域の活発な活動に知事は大変感銘を受けられ、贈呈式は大いに盛り上がりました。

今年のくり生産は、去年の豊作の影響で裏年気味ですが、台風の影響もなく順調です。



東国原知事への贈呈の様子（贈呈者は部会長の谷川鎮夫氏）



西白杵支庁長への贈呈の様子（贈呈者は副部会長の尾崎正茂氏）

## 日之影町青少年伝統芸能発表大会

日之影町では、町内各地に受け継がれてきた伝統芸能を未来の継承者となる子どもたちに伝えることで、郷土愛に満ちた心豊かな子どもたちの健全育成に取り組んでいます。

9月2日には第6回日之影町青少年伝統芸能発表大会が同町宮水小学校体育館で開催され、9団体、約140人の子どもたちが参加しました。

同大会は、伝統芸能の承継者である青少年の健全育成、地域文化活動の活性化などを目的に、日之影町青少年伝統芸能発表大会実行委員会が町教育委員会などとの共催により5年前から開催してします。6回目となった今年、地域に伝わる神楽や歌舞伎、団七踊り、棒術などの伝統芸能を子どもたちが披露しました。



平成19年度 豊かな心を育む子どもの体験活動支援事業  
大人歌舞伎（大人歌舞伎愛護少年団）



日之影神楽 舞い込み（大菅地区連合少年団）



深角団七踊り（深角団七踊り愛護少年団）



古園棒術（日之影小学校3、4年生）

## 五ヶ瀬ワイン最優秀カテゴリー賞受賞

第5回国産ワインコンクールにおいて、五ヶ瀬ワイン「ナイアガラ」が北米系等品種の白部門において、日本一となる最優秀カテゴリー賞を受賞しました。

五ヶ瀬ワインは、五ヶ瀬町産のぶどうのみを使って製造されています。ナイアガラは、キンモクセイのようなすがすがしい香りと、さわやかなやわらかい口当たりが特徴の甘口の白ワインです。



五ヶ瀬ワイン「ナイアガラ」

## 西臼杵3町が地域再生計画の認定を受けました

高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町が共同で国に申請していた地域再生計画が、9月20日に認定を受けました。

- 1 計画名 「着地型旅行関連ビジネスの創出」による地域再生計画
- 2 申請者 高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町
- 3 概要

旅行需要の開拓を図り産業を活性化するため、「食や宿」「交通サービス」「体験プログラム」など様々な旅行サービスに携わる人材の育成と就業確保を図る人材育成カレッジ等に取り組む。

関連地場産業の事業力強化のため、ビジネス能力開発講座などの取組を推進する。

旅行ニーズに応える多様なサービス産業を広く創出し、地域に根ざし細やかで良質な旅企画を地域自らが販売する着地（発信）型旅行産業の振興を図り、雇用創造を目指す。

### 編集後記

以前、ある方の講演で、地域づくり、観光づくりには「よそ者・若者・ばか者」が必要という話を聞きました。私は「よそ者」にズバリ当てはまります。よそ者だからこそできる「地域の魅力」を掘り起こしたいと思います。住民の方々の地域に対する想いはさまざまです。住民の皆さまとの対話を通じて、地域への想いを活動へ具体化するお手伝いが少しでもできたらと考えています。もう若者になることはできませんが、せめてばか者にはなって、頑張ることができたらといつも思っています。 博

\* 西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

### お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課  
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760  
URL [http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiki/shityoson/nishiusuki\\_shityo/index.html](http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html)

100 古紙配合率100%、白色度82%を使用しています。

## 地域づくりインターン事業を実施

8月29日

高千穂町は、国土交通省の「若者の地方体験交流支援事業（地域づくりインターン事業）」を活用し、8月17日から30日までの2週間にわたり、首都圏の大学や宮崎大学の学生12人を受け入れました。

学生らは、町内の民家にホームステイしながら、観光施設や伝統文化の体験、観光客や観光事業者への聞き取り調査等を行い、8月29日には、今後の高千穂町の地域づくりや観光のあり方について提言を行う報告会を行いました。

報告会では、農泊の活用、歩いてみたくなる町にするために景観の統一が有効であることなどの提言がありました。



「高千穂町地域づくりインターン活動報告会」（高千穂町役場大会議室）

## 百歳長寿者訪問

9月18日～9月21日

百歳以上の長寿者を県民挙げて祝福するため、西臼杵郡内の今年度百歳になられる長寿者を西臼杵支庁長が老人週間に合わせて訪問し、内閣総理大臣及び知事からの祝状と記念品を贈呈しました。

今年度百歳を迎えられるのは、飯干モヨさん、甲斐吏(かき)さん、甲斐ナツエさん、甲斐ユキさん、工藤ハル子さん、興相好子さん、小平トキさん、富高アキヨさん、原田ササエさん、渡邊久幸さん（以上高千穂町）甲斐廣志さん、小迫スギさん（以上五ヶ瀬町）の12名です。



今年度百歳を迎えられる興相好子さん（中央）